

一般社団法人日本鉱物科学会

2022年度 第1回定例理事会 議事録

【1】招集年月日：2022年9月6日(理事会招集手続きは ,理事及び監事全員の同意があり省略する。)

【2】開催年月日及び時刻：2022年9月17日(土) 18時00分～19時35分

【3】開催場所：新潟大学総合教育研究棟 B棟3階 B351
950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050

【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数：21名 (Z)-WEB会議参加

大和田正明 井上 徹 阿部なつ江 池田 剛(Z) 磯部博志 大藤弘明
鍵 裕之(Z) 亀井淳志 川本竜彦 河上哲生 興野 純 黒澤正紀
高澤栄一 辻森 樹 土屋範芳 富岡尚敬 永井隆哉(Z) 永嶋真理子(Z)
坂野靖行 M.Satish-Kumar 三宅 亮(Z)

【6】欠席理事数：1名 栗林貴弘

【7】出席監事：下林典正

【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫行事幹事・行事委員会委員長，瀬戸雄介Elements幹事・Elements委員会委員長，
西原 遊JpGU2023年学会選出プログラム正委員，福士圭介副委員
門馬綱一新鉱物・命名・分類委員会委員長，林信太郎教育普及委員会委員長，西山忠男IMA小委
員会委員長・学術会議連携会員，篠田圭司2023年年会運営委員会委員長，浜根大輔日本鉱物科学
会論文賞選考委員会委員長，

欠席：掛川武渡邊萬次郎賞選考委員会委員長，栗谷豪研究奨励賞選考委員会委員長，
松原聰櫻井賞選考委員会委員長

【9】議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。磯部議長から，2022年8月30日に理事会招集手続省略の同意依頼を行い，9月6日に理事22名全員の同意と監事の同意が得られたので，本日第1回定例理事会を開催することになった旨の報告があった。次に，決議定足数と出席者数の確認を行い，理事21名の出席(5名はWEB会議出席)を確認し，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長は開催現地およびWEB会議システム(ZOOM Meeting) を用いて理事会を開会することを宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2022年度第1回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部理事が書記として選出された。

I. 審議事項

第1号議案 会長及び副会長の選定（磯部議長）

磯部議長から、大和田正明理事を会長（代表理事）に、井上 徹理事を副会長（代表理事）に選定することについて審議がなされ、全会一致を以て可決承認された。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。任期は2024年定時総会終結の時までである。

第2号議案 幹事、各委員会委員長、委員承認の件（大和田会長）

大和田会長から以下の(1)から(19)までの幹事、各委員会委員について説明があり、各幹事、各委員会委員長、各委員について異議なく承認された。

(1) 幹事会幹事は、理事会の議を経て会長が委嘱する）

会 長：大和田正明(理事)， 副会長：井上 徹(理事)

庶務幹事：磯部博志(理事)， 会員幹事：阿部なつ江(理事)， 会計幹事：栗林貴弘(理事)，

行事幹事：片山郁夫，和文誌編集幹事：高澤栄一(理事)，英文誌編集幹事：M.Satish-Kumar(理事)，

渉外幹事：永嶋真理子(理事)，広報幹事：大藤弘明(理事)，Elements幹事：瀬戸雄介，

特務幹事（細則等検討担当）：井上 徹(理事，副会長)，地球惑星科学連合学会選出プログラム委員：

西原 遊(正)・福土圭介(副)，地惑連合連絡担当：阿部なつ江(理事)，三鉱連絡委員：磯部博志(理事，

庶務幹事)，片山郁夫(行事幹事)

(2) 行事委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した行事幹事があたる。

本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する

委員長：片山郁夫(行事幹事)，副委員長：瀬戸雄介

委 員：越後拓也，寺崎英紀，湯口貴史，吉村俊平

(3) 岩石鉱物科学編集委員会

編集委員長は、和文誌編集幹事が担当し会長が指名、理事会に報告する。

編集委員は、編集委員長が指名し、会長がこれを委嘱する。

委員長：高澤栄一(和文誌編集幹事・理事)

副委員長：興野 純

委 員：秋澤紀克， 阿部なつ江， 江島輝美， 遠藤俊祐， 大藤弘明， 川畑 博，

久保友明， 栗谷 豪， 栗林貴弘， 近藤 忠， 齊藤 哲， 下林典正，

鈴木庸平， 中村美千彦， 永嶋真理子， 野口高明， 伴 雅雄， 坂野靖行，

東野文子， 星出隆志 三宅 亮， 宮原正明， 門馬綱一， 塚本尚義

(4) JMPS編集委員会

編集委員長および英文誌編集幹事は、会長が指名、理事会に報告する。

編集委員は、編集委員長が指名し、会長がこれを委嘱する。

委員長：M. Satish-Kumar (英文誌編集幹事，理事)

副委員長：永井隆哉，河上哲生，門馬綱一

委 員：伴 雅雄， Luca Bindi， Kaushik Das， Daniel J. Dunkley， 福山繭子， Sujoy K. Ghosh，

濱田麻希， 市山祐二， 加藤文典， 河野元治， 小木曾哲， 瀨藤佑衣，

Sajeev Krishnan， 栗林貴弘， 興野 純， 三河内岳， Stuart J. Mills， 永嶋真理子，

大藤弘明， 奥寺浩樹， Betchaida D. Payot， Peng Peng， 下林典正， 篠田圭司，

隅田祥光， 角替敏昭， 宇都宮聡， 吉村俊平

(5) 渉外委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した渉外幹事があたる。

本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：永蔭真理子(渉外幹事・理事)

委員：宇都宮聡(環境)、川添貴章(高圧)、栗谷 豪(火山)、辻森 樹(地質)、森下知晃(岩石)

(6) 広報委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した広報幹事があたる。

本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：大藤弘明(広報幹事・理事)

委員：斉藤 哲(JpGUブース展示担当)、石橋秀巳(Twitter担当)、浜田麻希(Facebook担当)、
延寿里美(Youtube担当)、(次回理事会に報告予定)(HP担当)、磯部博志(庶務幹事)

(7) Elements 委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱したElements 幹事があたる。

役職指定委員以外のその他の委員は、委員長が指名し、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：瀬戸雄介(Elements幹事)

副委員長：東野文子(委員長は、委員から1名を副委員長に指名)

委員：宇都宮聡、奥村 聡、片山郁夫、興野 純、小松一生、新名良介、橘 省吾、寺崎英紀、
中野伸彦、門馬綱一、横山 正(サイエンスボード)

Society News Editor：瀬戸雄介

Executive Committee Member：大和田正明(会長)

学会役職指定委員：磯部博志(庶務)、高澤栄一(GKK)、M. Satish-Kumar(JMPS)、片山郁夫(行事)、
永蔭真理子(渉外)、大藤弘明(広報)

(8) JpGU 2023年学会選出プログラム委員

正・副委員を会長が指名し、理事会での承認後、これを委嘱する。

正委員：西原 遊、副委員：福土圭介

(9) 細則等検討委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した特務幹事があたる。

委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を4名指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。

委員長：井上 徹(特務幹事細則等検討担当、理事)

委員：角替敏昭、川本竜彦、亀井淳志、黒澤正紀

(10) 新鉱物・命名・分類委員会

委員長は、会長が指名する。本委員会委員長は、IMA 新鉱物・命名・分類委員会の日本代表委員を兼務する。

委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。

委員長：門馬綱一

委員：上原誠一郎、小林祥一、清水正明、白勢洋平、浜根大輔、坂野靖行、豊 遙秋、松原 聡。
宮脇律郎

(11) 教育普及委員会

委員長は、会長が指名する。委員は委員長によって正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。
理事1名以上を委員に含むこととする。

委員長：林信太郎

委員：貴治康夫、宮嶋 敏、川手新一、川本竜彦(理事)

(12) 博物館委員会

委員長は、会長が指名する。本委員会委員長はIMA 博物館委員会の日本代表委員を兼務する。
委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。

委員長：坂野靖行

委員：宮脇律郎，森 康，三河内岳，上原誠一郎

(13) 日本鉱物科学会賞選考委員会

委員会は11名の委員で構成する。委員長は会長が指名し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。
委員のうち、1名は会長とする。残り9名は委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、
会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。委員の任期は、委嘱された日から表彰を行う定例
総会終了時までとする。再任を妨げない。

委員長：辻森 樹(理事・会長指名)

委員9名(委員長指名)：桂 智男(副委員長)，鍵 裕之(理事)，大藤弘明(理事)，小暮敏博，宮脇律郎，
西山忠男，野口高明，奥地拓生，海野 進，大和田正明(会長)

(14) 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員会は8名の委員で構成する。委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、
会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。

委員長：掛川 武(会長指名：申し合わせにより前年度副委員長)

副委員長：永井隆哉(理事，1期目の新委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員4名)：阿部利弥，安東淳一，掛川 武(委員長)，斉藤 哲
(1期目委員4名選出)：永井隆哉(理事，副委員長)，鍵 裕之(理事)，坂野靖行(理事)，
永嶋真理子(理事)

(15) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員会は10名の委員で構成する。委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、
会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。

委員長：浜根大輔(会長指名：申し合わせにより前年度副委員長)

副委員長：(次回理事会まで報告予定) 1期目の新委員から委員長が指名する。

委員：(2期目継続委員5名)：池田 剛(理事)，興野 純(理事)，栗林貴弘(理事)，浜根大輔(委員長)，
松影香子
(1期目委員5名選出)：次回理事会まで報告予定。

(16) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員会は10名の委員で構成する。委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、
会長がこれを委嘱する。但し、委員のうち、2名以上は理事とする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。

委員長：栗谷 豪(会長指名：申し合わせにより前年度副委員長)

副委員長：片山郁夫(1期目の新委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員5名)：栗谷 豪(委員長)，福山繭子，阿部なつ江(理事)，岡本 敦，門馬綱一
(1期目委員5名選出)：片山郁夫(副委員長)，富岡尚敬(理事)，亀井淳志(理事)，川野 潤，
瀬戸雄介

(17) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員会は10名の委員で構成する。委員は、委員長が正会員、名誉会員の中から委員を指名し、理事会での承認を経て、
会長がこれを委嘱する。但し、委員のうち、2名以上は理事とする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。

委員長：興野 純(理事)(会長指名：申し合わせにより前年度副委員長)

副委員長：池田 進(1期目の新委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員5名)：磯部博志(理事)，北脇裕士，興野 純(委員長，理事)，栗林貴弘(理事)，

鈴木正哉

(1期目委員5名選出): 池田 進(副委員長), 奥寺浩樹, 川野 潤, 中塚晃彦, 森本和也

(18) 櫻井賞選考委員会

委員長は、理事会の議を経て会長が委嘱する。委員は、委員長が推薦し、理事会の議を経て会長がこれを委嘱する。

委員長：松原 聡

委員：清水正明, 坂野靖行, 宮島 宏, 宮脇律郎

(19) 2023年年会運営委員会

委員長：篠田圭司, 委員長：瀬戸雄介, 委員：福田惇一, 奥地拓生
片山郁夫行事委員会委員長, 瀬戸雄介行事委員会副委員長

(20) その他 各WG委員, 各賞選考委員会については特になし。

第3号議案 庶務および会計での副幹事設置の件(大和田会長)

大和田会長から、庶務幹事及び会計幹事における副幹事設置の提案について、以下のような説明があり、異議なく承認された。

(提案理由)2023年4月から、事務局業務を会社に業務委託する計画を進めており、それに関連して一部業務の見直しと委託先への引継ぎが主に会計および庶務の仕事で発生します。また、2023年4月以降の会社への業務委託に当たっては、現在の事務局業務の全てを委託することは予算上難しく、一部業務は各委員会で実施をお願いすることになり特に、会計および庶務では、業務が多いことが予想されるが、現在の会計幹事1人と庶務幹事1人では対応が難しいと想定され、そこで、会計および庶務について、現在の業務以外の業務委託に関連した引継ぎ作業と2023年4月以降の補佐的業務を実施するため、双方について当面の期間(1年間)、臨時に副幹事を置くことを提案したい。

第4号議案 運営細則改正の審議(大和田会長, 井上副会長)

大和田会長から、副幹事としての職務を十全に行うため、現行の運営細則にはない副幹事の職務に関する規定を新たに付け加える必要があるとのことから、運営細則の幹事会規定部分の修正内容説明とその改正案の提案がなされ、複数の理事からの質疑があり応答の後、異議なく承認された。

一般社団法人日本鉱物科学会 運営細則 改正案 (下線: 追加部分, 取り消し線; 削除部分)

幹事会

第1条 幹事会は会長、副会長及び庶務、会員、会計、行事、和文誌編集、英文誌編集、渉外、広報、Elementsの各幹事で構成する。但し、必要に応じて特務幹事、さらに各幹事に副幹事を設け、これに加えることができる。

2 幹事は、総会および理事会の決議にもとづいて本会の業務を執行し、事業の計画および調整を行う。副幹事は幹事の業務を補佐する。

第2条 幹事会は会長が随時召集し、会長が進行役を務める。会長が認めれば電子メールでの開催を行うことができる。

第3条 幹事会は、各幹事による業務報告、事業計画の作成、理事会議題の作成、その他本会の業務執行に関する事項の審議・施行を行い、会長の会務執行を補佐する。

第4条 幹事は、理事会の議案に基づいて本会の庶務、会員、会計、行事、和文誌編集、英文誌編集、渉外、広報、Elements、およびその他の業務を分担執行する。幹事は理事会に出席して、~~する。~~また、副幹事は理事会に出席することができる。幹事は担当事項について報告する義務を負うが、幹事が不在の時は副幹事が代理で報告する。

2 幹事および副幹事は、理事会の議を経て会長が委嘱する。但し、幹事の少なくとも半数は理事であることを要する。

3 幹事および副幹事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとし、重任を妨げない。

4 会長は、特別の事情がある場合には、理事会の議を経て幹事および副幹事を解任することができる。

5 幹事および副幹事の補充は理事会の議を経て行う。

第 5 条 各幹事は次に掲げる業務を分担し、副幹事はこれを補佐する。

附則 令和4年（2022年）9月17日改正。

第 5 号議案 副幹事承認の件（大和田会長）

大和田会長から、以下の 2 名を庶務副幹事と会計副幹事担当とする提案があり、異議なく承認された。

庶務副幹事候補者：黒澤正紀 理事 会計副幹事候補者：富岡尚敬 理事

第 6 号議案 新入会承認の件（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事から、学生会員 2 名の入会申し込みについて紹介があり、異議なく承認された。

また、2 年間会費未納者が会費を納入したことで 1 名の一般会員の停止が復活したことと、退会 1 名の報告があり、2022年9月13日現在会員数は、8 月24日時点での809人に2名の新入会員と1名の復活会員が加わり、1名が退会したので、811名となった。

第 7 号議案 研究部会「岩石 - 水相互作用」の設置申し入れの件（土屋代表、理事）

土屋理事から、第 7 期（2022年10月1日～2024年9月30日）研究部会「岩石 - 水相互作用」設置設立趣旨書の説明があり、異議なく承認された。

第 8 号議案 2023年年会開催方針について （大和田会長，説明：片山行事幹事）

片山行事幹事から、大阪公立大学で2023年9月14日(木)～16日(土)の日程で開催する方向で、現在順調に準備が進められていることが報告され、異議なく承認された。

第 9 号議案 2024年年会開催地決定のためのスケジュールについて

（大和田会長，説明：片山行事幹事）

片山行事幹事から、2024年年会開催地について、本日、名古屋大学関係者から開催を了承していただいたとの報告があり、異議なく承認された。

第 10 号議案 臨時理事会，第2回定例理事会，第3回定例理事会，定時総会開催日の件

（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事から今後の理事会開催予定について説明があり、以下の定例理事会，臨時理事会開催について承認された。

第1回臨時理事会：2022年年内，第2回定例理事会：2023年5月20日(土)JpGU開催前日，第3回定例理事会：2023年8月下旬，2022年度定時総会：2023年9月14日(木)～16日(土)の大阪公立大学での2023年年会期間中，2023年度第1回理事会：同2023年年会期間中

その他

1) 将来企画委員会の設置の件（大和田会長）

大和田会長から、将来企画委員会設置について、次回臨時理事会まで具体的な諮問内容を検討し、次回臨時理事会で諮問し設置し、更に現在提示している委員会委員を審議していただきたいとの提案があ

った。また、井上副会長からも今後の将来企画委員会のあり方、活動方針について説明があり、異議なく承認された。

2) オンラインレクチャー検討の件（大藤広報幹事）

大藤広報幹事より、国立科学博物館ではAiNiを利用した世界鉱物年を記念した有料オンラインレクチャー企画が始まっているとの紹介があり、門馬会員より説明があった。鉱物学会として同様の企画が可能か、広報委員会で検討したいとの報告ならびに提案があり、了承された。

3) 第1号議案と第2号議案の再審議（磯部議長）

第1号議案と第2号議案審議中、ZOOM参加者へ音声が届かなかったことが後に判明し、磯部議長から第1号議案について、大和田会長から第2号議案についてZOOM参加者に再度説明がなされ、その後再審議が行われた。

その結果、通信状態が問題ない状況において、出席の全理事から異議なく承認され、そのことを再確認した。

II. 報告事項

会長・副会長の職務執行報告(大和田会長・井上副会長)

各業務は各担当者に一任されていることから、会長、副会長より個別の報告は特になく、各担当者から以下の報告がなされた。

1. 第1回定例理事会前開催の委員会報告

(1) JMPS編集委員会報告（Satish-Kumar英文誌編集幹事，JMPS編集委員長，理事）

Satish-Kumar英文誌編集幹事から2022年9月7日(水)14:00-15:00にZOOMで開催された編集委員会について以下の通り、報告された。

報告事項：

1. 現状報告：コロナの影響による投稿論文数減少が続いている。電子ジャーナル化後、現在まで8編が公開されている。
2. 特集号報告：“Recent Advances in Mineralogy, Petrology, Geochemistry and Geochronology in East Antarctica”
Guest Editors: Tomokazu Hokada (National Institute of Polar Research, Japan), M. Satish-Kumar (Niigata Univ., Japan) and Tetsuo Kawakami (Kyoto Univ., Japan) の紹介があった。
3. 2021年インパクトファクター：1.041（2020年は0.72）
4. その他

議題：

1. 新体制について：新英文誌幹事としてSatish副委員長が会長に推薦された。
2. 副編集委員長：新副委員長を検討した。
3. Editorial advisory boardと内規について：新体制にEditorial advisory boardを新設するために編集委員会内規を改正予定で継続審議。
4. 著作権について：オープンアクセスと著作権、その表示方法、そして著作権料について編集委員会で検討した。
5. J-STAGEでのData管理について継続審議、6. その他などの報告があった。

また、上記報告に加えて、Satish英文誌編集幹事、JMPS編集委員長から、国内外から新編集委員を加えた新体制で論文数増加や、インパクトファクター維持などに努めていくとの説明があった。

臨時議案提案：

最後に、JMPS編集委員会で審議された内容のうち、河上副編集委員長から詳しく説明のあった「4, 著作権について」、JMPS編集委員会でオープンアクセスに掛る著作権の取り扱いの変更が検討されたことから、Satish編集委員長（理事）は、その変更の理事会承認を受けるため、議案として提案し、異議なくその変更は承認された。

(2) 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事，理事）

高澤和文誌編集幹事から2022年9月13日(火) 17:00-18:00にZOOM利用により開催された2021年度第6回GKK編集委員会について以下の通り、報告された。

- 1) 次期編集幹事の会長への推薦について：高澤和文誌編集幹事の継続が推薦された。
- 2) 次期編集委員（留任含む）の提案：現編集委員への留任可否伺い、新編集委員打診などの報告があった。
- 3) 依頼原稿の進展確認とカテゴリー担当別話合の報告：投稿不足の対応策として依頼原稿を増やす。
- 4) その他: 2022年6月15日(水) 9時30分から11時までZoomによりJST飯田氏とJ-STAGE Data「意見交換会」

開催の報告

(3) 広報委員会報告（大藤委員長，理事）

大藤広報委員長から9月14日にZOOMで開催した広報委員会について以下の報告があった。

- 1) 広報委員会のHP担当者の決定すること
- 2) SNS利用の件：一例として、会員が著者のJMPS、GKK公開論文をSNSで発信することなど。

(4) IMA小委員会・学術会議報告（西山委員長）

総会で報告させていただきましたので、ここでは特にありませんと、述べられた。

2. その他 幹事紹介

磯部議長により、以下の幹事について紹介があった。

- (1) 庶務幹事（磯部博志理事） 副幹事（黒澤正紀理事）
- (2) 会員幹事（阿部なつ江理事）
- (3) 会計幹事（栗林貴弘理事） 副幹事（富岡尚敬理事）
- (4) 行事幹事（片山郁夫行事幹事，行事委員会委員長）
- (5) 渉外幹事（永蔭真理子理事，渉外委員会委員長）
- (6) Elements幹事（瀬戸雄介Elements委員会委員長）
- (7) 地惑連合連絡委員（阿部なつ江理事）
- (8) 地球惑星科学連合選出プログラム委員（西原 遊 正委員， 福土圭介 副委員）
- (9) 三鉱連絡委員（磯部庶務幹事，片山行事幹事）
- (10) 細則等検討委員会 特務幹事（細則等検討担当）（井上 徹委員長・理事）
- (11) 教育普及委員会（林信太郎委員長）
- (12) 新鉱物・命名・分類委員会（門馬綱一委員長）
- (13) 博物館委員会（坂野靖行委員長・理事）
- (14) 研究部会「岩石 - 水相互作用」報告（土屋代表・理事）

3. その他の報告

- (1) 事務局業務委託に向けた検討報告（大和田会長）

大和田会長から以下の様な現状報告があった。

- 1) 業務委託先の件：既に2社から相見積もりを取っており、更にもう1社の見積りを依頼しているが、今後、業務内容を精査して、10月末までには結果をだすことにしている。
- 2) 登記上の住所の件：定款変更が困難なため、登記上の住所は仙台市に置くこととして、業務委託をすることになる。

複数の理事から以下の意見があった。

- 1) 業務委託内容と幹事、各委員会担当の業務内容について具体的に確認したい。
- 2) 委託先と幹事、各委員会の業務仕分けを系統的に解決したい。
- 3) 時系列に記載された事務局業務の一覧表が必要

上記意見3)について、井上副会長から、一覧表はあるので幹事、委員会で共有して仕分けを確実に理解するよう進めていくことの提案があり、来年4月以降もしばらく業務引継ぎをしていくことで了解した。

(2) 「未来の学術振興構想」への愛媛大学申請計画の件（井上副会長）

井上副会長から、日本学術会議「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」公募に対し、愛媛大学から下記の通り応募する方向で検討しており、12月の応募に向けて申請書を準備している段階である旨説明があった。

提案：「革新的技術に基づく地球深部物質科学の学際的推進と新たな融合分野の創成」

提案代表者：愛媛大・入船徹男教授

この説明に対し、阿部理事からビジョンの共有が重要であること、西山IMA小委員会委員長・学術会議連携会員からこれまでの経緯などについてコメントがあった。

井上副会長より、学術会議への応募に際して日本鉱物科学会からのサポートレターを希望するとの依頼があった場合は、理事会での審議の上、適切に手続きを進めたい旨、説明がなされた。

(3) その他

特に無し

【10】閉会

以上の議事を終え、19時35分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和4年(2022年)9月18日

会 長 大和田 正明 実印

副会長 井上 徹 実印

監 事 下林 典正 実印